

リスクアセスメント/OSHMS

ISO45001にも対応

中央労働災害防止協会（中災防）では、厚生労働省の「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」（厚生労働省指針）に基づき、“労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の構築、運用のための研修”や、事業場における“危険性又は有害性等の調査等の実施（リスクアセスメント）に関する研修”など、中災防が長年培った経験・知識を織り込み研修を実施しております。

特に、OSHMSについては2018年（平成30年）春のISO規格（ISO45001）発行により今後ますますその導入が求められると考えられます。

より安全、健康、快適な職場づくりの実現のため、是非ともこれら研修にご参加くださいますようお願い申し上げます。

- **OSHMS (ISO45001、厚生労働省指針)・リスクアセスメントの基本を学びたい／レベルアップを図りたい** ▶▶▶ 2 ページ

- **機械設備に対するリスクアセスメント、リスク低減方策を学びたい** ▶▶▶ 10 ページ

- **化学物質の管理・リスクアセスメントを学びたい** ▶▶▶ 15 ページ



研修・セミナーのお申込はこちら

中災防 リスク

検索

または

中災防 化学

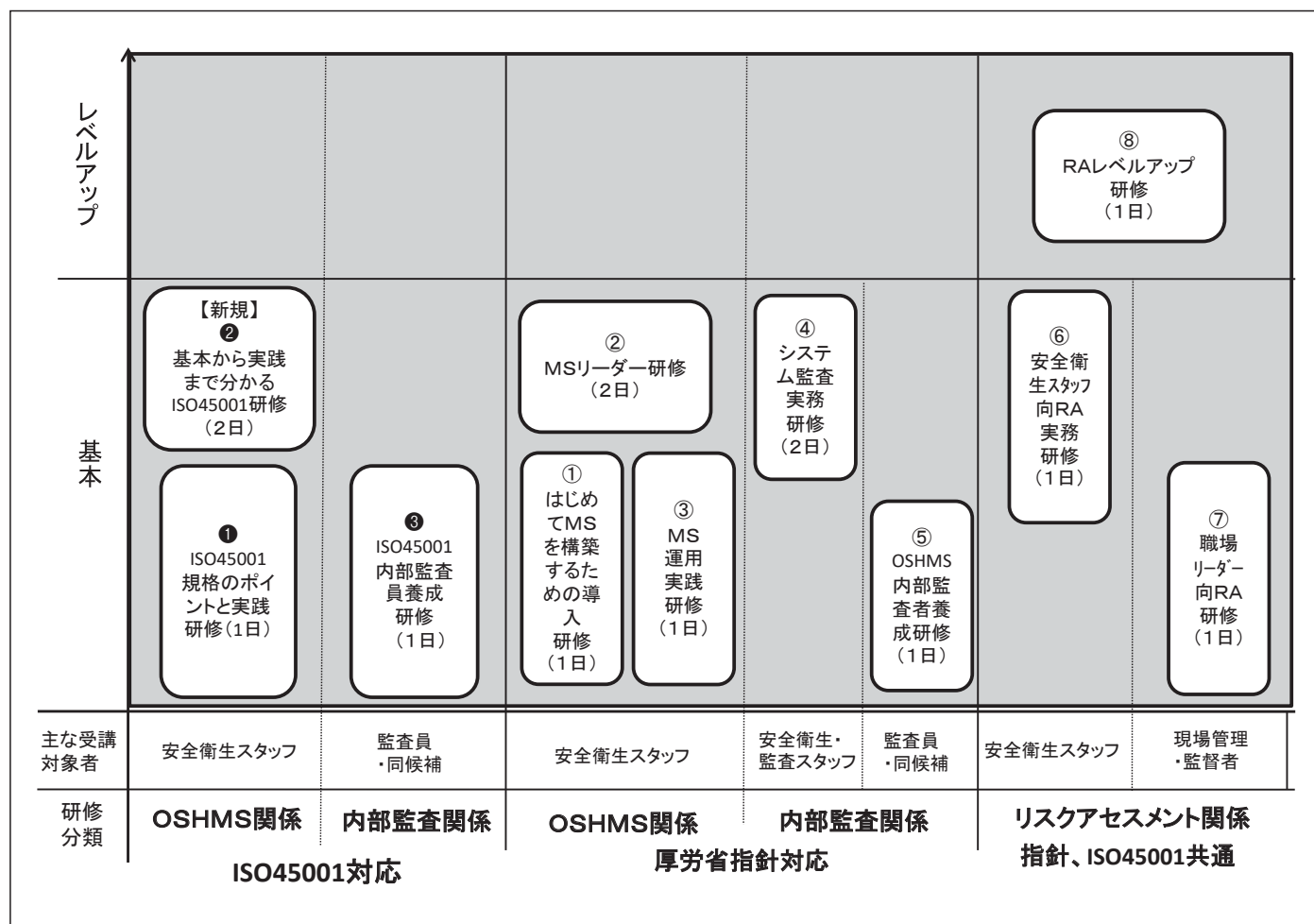
検索

マネジメント、リスクアセスメント、機械安全：<http://www.jisha.or.jp/oshms/>
化学リスクアセスメント：<http://www.jisha.or.jp/chemicals/>

応援します 明日の安全・健康・快適職場

JISHA
Japan Industrial Safety & Health Association
中災防

● OSHMS / リスクアセスメント関係研修の体系



OSHMS / RA 研修は、受講者の属性・担当等と事業場等における OSHMS・RA の導入・取組状況に応じて位置づけを整理すると上記のとおりとなります。これをご参考に目的の研修をお選びください。

■ OSHMS (ISO45001 規格対応コース)

- ① ISO45001 規格のポイントと実践研修 3
- ② 基本から実践まで分かる ISO45001 研修 3
- ③ ISO45001 内部監査員養成研修 3

■ OSHMS (厚生労働省指针对応コース)

- ① はじめてマネジメントシステムを構築するための導入研修 4
- ② マネジメントシステムリーダー研修 4
- ③ マネジメントシステム運用のための実践安全衛生研修 5
- ④ システム監査実務研修 5
- ⑤ OSHMS 内部監査者養成研修 6

■ リスクアセスメントコース (厚労省指針、ISO45001 共通)

- ⑥ 安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修 7
- ⑦ 職場リーダー向けリスクアセスメント研修 8
- ⑧ リスクアセスメント・レベルアップ研修 9

■ JISHA 方式 OSHMS 評価員養成コース

- ⑨ JISHA 方式 OSHMS 評価員養成研修 9



研修・セミナーのお申込はこちら 中災防ホームページ : <http://www.jisha.or.jp/oshms/>

中災防 リスク

検索



● OSHMS (ISO45001 規格対応コース)

① ISO45001 規格のポイントと実践研修

対象者 ISO45001 の認証取得を検討している事業場の安全衛生スタッフ・安全衛生担当者、ISO45001 に関心のある方 等
(労働安全衛生マネジメントシステムについての基礎的知識があればより理解が深まります)

内容 ISO45001 の要求事項のうち、ポイントとなる部分を中心に事業場として求められる具体的対応について解説します。

料金 25,710 円 (賛助会員) 30,860 円 (一般)
【15,430 円 (賛助会員・中小割引) 18,520 円 (一般・中小割引)】
(いずれも消費税 8%、資料代を含みます)

定員 40 名

カリキュラム概要 (1 日研修) 予定

- 講義
OSHMS の目的と意義、ISO45001 の特徴／各箇条のポイント、JIS α (仮称) の概要

開催日程 *問合せ先は、いずれも中災防技術支援部 (TEL 03-3452-6376、E-mail: ms@jisha.or.jp) です。

開催日	開催地	開催日	開催地	開催日	開催地	開催日	開催地	開催日	開催地	開催日	開催地
4/27	東京	6/19	東京	7/5	東京	8/9	仙台	9/12	東京	12/12	東京
5/17	東京	6/22	大阪	7/31	福岡	8/28	札幌	10/16	大阪	1/15	東京
6/1	名古屋	7/3	広島	8/6	東京	9/5	名古屋	11/5	東京		

② 新規 基本から実践まで分かる ISO45001 研修 (2 日間コース)

対象者 安全衛生スタッフ・担当者等 (主として、ISO45001 や JIS α について詳しく学びたい方、労働安全衛生マネジメントシステムを初めて導入する事業場のご担当者など ISO45001 を基本から学びたい方)

内容 ISO45001 の要求事項を基本から実践まで解説し、演習により理解を深めていただく内容となっています。また、平成 30 年夏には ISO (JISQ) 45001 と一体で運用する日本版マネジメント規格 (JIS α (仮)) も発行されることから、研修カリキュラムに JIS α の内容に関する解説を追加する予定です。

料金 64,800 円 (賛助会員) 72,000 円 (一般)
【38,880 円 (賛助会員・中小割引) 43,200 円 (一般・中小割引)】
(いずれも消費税 8%、資料代を含みます)

定員 40 名

カリキュラム概要 (2 日間研修) 予定

- 講義
OSHMS の目的と意義、ISO45001 総論／ISO45001 の特徴、各箇条の解説、JIS α (仮) の解説
- 演習
内外の課題・ニーズ、期待を踏まえた取組みの計画の策定／安全衛生活動等の決定、計画的実施など
- 情報交換

開催日	開催地	開催日	開催地
10/4 ~ 5	東京	3/7 ~ 8	名古屋
3/4 ~ 5	東京	未定	大阪

*問合せ先は、
いずれも中災防技術支援部
(TEL 03-3452-6376、E-mail: ms@jisha.or.jp) です。

③ ISO45001 内部監査員養成研修

対象者 ISO45001 の内部監査を実施する際に監査者になる予定の方、監査の事務局となる安全衛生部門のスタッフ 等
(労働安全衛生マネジメントシステムについての基礎的知識があればより理解が深まります)

内容 ISO45001 の要求事項 (概要) と内部監査技法のポイントについて演習を交えて習得します。
(要求事項の内容を網羅的に把握されたい方には、「ISO45001 規格のポイントと実践研修」を併せて受講されることをお勧めします。)

料金 25,710 円 (賛助会員) 30,860 円 (一般)
【15,430 円 (賛助会員・中小割引) 18,520 円 (一般・中小割引)】
(いずれも消費税 8%、資料代を含みます)

定員 40 名

カリキュラム概要 (1 日研修) 予定

- 講義
システム監査の意義・目的、ISO45001 の要求事項／システム監査の準備／システム監査の実施
- 演習
チェックリスト作成／役割演技など

開催日	開催地	開催日	開催地	開催日	開催地	開催日	開催地
7/6	東京	9/13	東京	12/13	東京	1/8	大阪
8/7	東京	11/6	東京	12/19	名古屋	1/16	東京

*問合せ先は、
いずれも中災防技術支援部
(TEL 03-3452-6376、
E-mail: ms@jisha.or.jp) です。

● OSHMS（厚生労働省指针对応コース）

① はじめてマネジメントシステムを構築するための導入研修

対象者 これからマネジメントシステムの導入を目指す事業場の安全衛生スタッフ・担当者等

内 容 マネジメントシステムの概要を理解し、どのように構築するか、担当者教育などをどのように進めればよいかなど、導入に向け全体像を把握する研修です。

料 金 18,510 円（賛助会員） 20,570 円（一般）
【11,110 円（賛助会員・中小割引） 12,340 円（一般・中小割引）】
（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
6/7	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376
10/26	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376

定 員 40 名

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
OSHMS の必要性／ISO45001 の動向／OSHMS 導入の準備／しくみの構築／効果的な安全衛生活動の実施／しくみの運用確認など
- 演習
導入計画の作成等

開催日	開催地	問合せ先	TEL
2/21	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376
3/12	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707

② マネジメントシステムリーダー研修

対象者 事業者、安全衛生スタッフ・担当者等、OSHMS に関心のある方など
（OSHMS の構築および運用する際に中心的な役割を果たす方）

内 容 OSHMS の基本的な考え方、仕組みを理解するとともに、既存の安全衛生管理を OSHMS として整備する段階から実施・運用まで、OSHMS の統括、推進等を行う上で必要な役割、業務について研修します。

※厚生労働省通達（平成 11 年 6 月 11 日付け基発第 372 号）のマネジメントシステム担当者研修を修了したことになります。

料 金 61,710 円（賛助会員） 72,000 円（一般）
【37,030 円（賛助会員・中小割引） 43,200 円（一般・中小割引）】
（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/17～18	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
6/21～22	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
7/5～6	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
7/12～13	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
7/19～20	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
8/2～3	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
8/23～24	神戸	（一社）兵庫労働基準連合会	078-231-6903
9/6～7	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707

定 員 50 名

カリキュラム概要（2 日間研修）

- 講義
1 日目：OSHMS の目的と意義／労働者の意見の反映、体制の整備、明文化、記録／危険性又は有害性等の調査等、緊急事態への対応
2 日目：安全衛生方針の表明、安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成、安全衛生計画の実施等／労働災害発生原因の調査等／日常的な点検・改善等、システム監査、OSHMS の見直し
- 演習
危険性又は有害性等を調査する手順の作成／安全衛生目標の設定、安全衛生計画の作成／安全衛生管理の仕組み、OSHMS の基本設計と構築

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/3～4	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
10/10～11	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
12/6～7	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
12/20～21	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
1/31～2/1	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
2/26～27	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
3/19～20	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701

③

マネジメントシステム運用のための実践安全衛生研修

対象者 OSHMSを導入している、または導入を検討している事業場の（新任）安全衛生スタッフ・担当者等、OSHMSの仕組みを活用して安全衛生活動を推進していく方など

内 容 OSHMSの導入効果を高めるために、実践的な安全衛生活動の進め方について、演習および講師との質疑応答を交えて研修します。

料 金 22,630 円（賛助会員） 25,710 円（一般）
【13,580 円（賛助会員・中小割引） 15,430 円（一般・中小割引）】
 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/18	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376
11/15	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376

定 員 40 名

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
OSHMS と安全衛生管理の基本／安全衛生法令に関する基礎知識／安全衛生活動の基本／安全衛生水準向上のための活動／評価と改善
- 演習
課題解決のための安全衛生計画の作成／安全衛生活動の手順書作成など
- 質疑応答
質問に対する講師からのアドバイス

④

システム監査実務研修

対象者 システム監査の事務局を担当する安全衛生スタッフ、担当者等（OSHMS のシステム監査を導入、運用する際に、仕組みづくりと実施体制の整備において中心的な役割を果たす方）

※「マネジメントシステムリーダー研修」を受講済みですと、より理解が深まります。

内 容 システム監査の仕組み、立ち上げ時の準備事項、監査の方法、監査結果の活用等に関する基本について研修します。

※厚生労働省通達（平成 12 年 9 月 14 日付け基発第 577 号）のシステム監査担当者研修を修了したことになります。

料 金 51,430 円（賛助会員） 61,710 円（一般）
【30,860 円（賛助会員・中小割引） 37,030 円（一般・中小割引）】
 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/22～23	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
7/17～18	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
9/13～14	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
11/8～9	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701

定 員 50 名

カリキュラム概要（2 日間研修）

- 講義
1 日目：OSHMS におけるシステム監査の目的と意義／システム監査立ち上げ時の準備
2 日目：システム監査の実施時の準備から結果の反映まで／システム監査の実施時の準備から結果の反映まで
- 演習
システム監査チェックリストの作成／システム監査計画（年間計画）の作成／システム監査の役割演技／討議

開催日	開催地	問合せ先	TEL
1/15～16	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
2/18～19	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
3/5～6	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701

カリキュラムや開催日程は、都合により変更する場合があります。また、申込者数の状況によって中止することがあります。
 最新の開催情報は、中災防ホームページ（<http://www.jisha.or.jp/oshms/>）又は、（<http://www.jisha.or.jp/chemicals/>）でご確認ください。

対象者 OSHMS のシステム監査を実施する際に、実際に監査を行う内部監査者およびその候補者など

内 容 システム監査の意義、目的、監査の準備、進め方の要点等について理解した後、監査員の役割演技を通じて監査の実施方法を研修します。

料 金 25,710 円（賛助会員） 30,860 円（一般）
【15,430 円（賛助会員・中小割引） 18,520 円（一般・中小割引）】
 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

定 員 50 名

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
システム監査の意義、目的とその概要／システム監査の準備／システム監査の実施
- 演習
システム監査のチェックリストの作成／システム監査の役割演技
- 討議
役割演技の評価と反省

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
4/25	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
5/30	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
5/31	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
6/26	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
7/18	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
7/24	高松	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
7/26	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
8/21	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
8/28	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
9/11	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
9/27	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
10/5	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/10	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
10/22	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
11/7	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
11/16	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
11/21	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
12/18	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
12/19	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
1/24	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
2/5	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
2/8	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
3/8	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701

【研修申込方法】

- お申込みは、当ホームページの「web 申込」または、研修参加申込書（当ホームページよりダウンロード）を記入の上、受講を希望される研修の申込先に FAX でお申込みください。折り返し「研修申込みの正式受付のご連絡（振込先記載等）」を FAX いたします。
- 参加費は、銀行振込みなどで研修開始日の 2 週間ほど前までに前納してください。
- 先着順で、定員になり次第申込みを締め切ります。また、参加者が極めて少ない場合には中止することがあります。その際には、ご連絡いたします。
- 受講票など受講に必要な書類は、研修開催日の 2 週間ほど前に連絡担当者様宛にお送りします。

詳しくは裏面の問い合わせ先までご連絡いただくか、中災防ホームページをご覧ください。

<http://www.jisha.or.jp/seminar/>

●リスクアセスメントコース（厚労省指針、ISO45001 共通）

⑥

安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修

対象者 安全衛生スタッフ・担当者等、リスクアセスメントの仕組みづくりに参画する事務局担当者など（リスクアセスメントの導入および実施体制の整備において中心的な役割を果たす方）

内 容 リスクアセスメントの考え方、実施方法、仕組みづくり等の基本について演習を交えて研修します。

※厚生労働省通達（平成12年9月14日付け基発第577号）のリスクアセスメント担当者研修を修了したことになります。

料 金 25,710 円（賛助会員） 30,860 円（一般）
【15,430 円（賛助会員・中小割引） 18,520 円（一般・中小割引）】
（いずれも消費税8%、資料代を含みます）

定 員 50 名

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
OSHMS におけるリスクアセスメントの目的と意義（OSHMS の概論、リスクアセスメントの基本）／リスクアセスメントの手法（危険性又は有害性の特定からリスク低減措置、導入から運用まで）
- 演習
リスクの見積り、リスク低減のための優先度の設定／危険性又は有害性の特定、リスクの見積り／リスクの除去・低減措置の検討

開催日程

地区	開催日	開催地	問合せ先	TEL
北海道	4/25	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	7/4	室蘭	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	7/18	北見	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	8/10	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	11/16	釧路	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	12/11	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	1/16	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	3/5	旭川	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
東北	5/29	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	7/31	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	9/28	秋田	（一社）秋田県労働基準協会	018-862-3362
	9/28	山形	（一社）山形県労働基準協会連合会	023-674-0204
	10/31	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	11/13	盛岡	（公財）岩手労働基準協会	019-681-9911
	11/27	青森	（一社）青森県労働基準協会	017-777-4686
	1/15	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	2/5	白河	（一社）白河労働基準協会	0248-24-0961
	4/23	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
関東・甲信越	5/21	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	6/5	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	6/22	甲府	（一社）山梨県労働基準協会連合会	055-251-6626
	7/4	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	7/20	新潟	（一社）新潟県労働基準協会連合会	025-283-2201
	7/27	横浜	（公社）神奈川労務安全衛生協会	045-662-5965
	8/6	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	9/5	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	10/3	前橋	（一社）群馬労働基準協会連合会	027-233-3582
	10/9	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	10/30	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	11/6	中野	（一社）長野県労働基準協会連合会	026-223-0280
	11/14	新潟	（一社）新潟県労働基準協会連合会	025-283-2201
	11/16	甲府	（一社）山梨県労働基準協会連合会	055-251-6626

地区	開催日	開催地	問合せ先	TEL
関東・甲信越	12/4	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	1/18	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	2/8	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	3/4	千葉	（公社）千葉県労働基準協会連合会	043-241-2626
	3/22	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	5/15	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
中部・北陸	5/25	福井	（公社）福井県労働基準協会	0776-54-3323
	6/19	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	7/24	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	8/8	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	9/26	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	10/9	津	（一社）三重労働基準協会連合会	059-227-1051
	10/25	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	11/27	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	12/18	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	2/13	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
近畿	6/26	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	8/27	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	11/2	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	12/5	神戸	（一社）兵庫労働基準協会連合会	078-231-6903
	2/5	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
中国・四国	5/10	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	9/25	高松	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	1/31	高松	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
九州	6/5	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	7/4	由布	（一社）大分県労働基準協会	097-585-5765
	8/10	福岡	（公社）福岡県労働基準協会連合会	092-262-7874
	9/20	宮崎	（公社）宮崎労働基準協会	0985-25-1853
	10/2	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	11/14	鹿児島	（公社）鹿児島県労働基準協会	099-226-3621
	1/22	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	2/1	熊本	（一社）熊本県労働基準協会	096-245-7821

⑦ 職場リーダー向けリスクアセスメント研修

対象者 リスクアセスメント実施の中心となる現場の監督者、職場リーダー、および実際にリスクアセスメントを実施する作業の方など

内 容 職場での危険性又は有害性の特定、リスクの見積り、リスク低減措置の検討等、リスクアセスメントの実際のやり方を理解して頂き、演習を中心にそのポイントを研修します。

料 金 25,710 円（賛助会員） 30,860 円（一般）
【15,430 円（賛助会員・中小割引） 18,520 円（一般・中小割引）】
 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

定 員 50 名

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
リスクアセスメントの概要／リスクの見積り及びリスク低減のための優先度の設定／危険性又は有害性の特定／リスクの低減措置の検討および実施
- 演習
リスクの見積り及びリスク低減のための優先度の設定／危険性又は有害性の特定、リスクの見積り／リスクの除去・低減措置の検討

開催日程

地区	開催日	開催地	問合せ先	TEL
北海道	5/15	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	7/20	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	9/14	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	10/10	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	11/27	室蘭	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	12/18	苫小牧	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
	2/19	札幌	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
東北	6/12	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	9/11	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	11/30	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	1/29	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
	3/5	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
関東・甲信越	4/27	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	5/25	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	6/18	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	7/23	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	8/23	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	9/21	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	10/12	横浜	（公社）神奈川労務安全衛生協会	045-662-5965
	10/29	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	11/19	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	12/12	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	1/25	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	2/15	甲府	（一社）山梨県労働基準協会連合会	055-251-6626
	2/27	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
	3/18	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701

地区	開催日	開催地	問合せ先	TEL
中部・北陸	7/6	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	9/7	富山	中部安全衛生サービスセンター北陸支所	076-441-6420
	10/2	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
	11/22	名古屋	（公社）愛知労働基準協会	052-221-1439
	1/16	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
近畿	4/27	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	7/13	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	9/19	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	10/12	神戸	（一社）兵庫労働基準連合会	078-231-6903
	11/27	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	1/22	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
中国・四国	3/12	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
	5/31	高松	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	7/18	松山	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	8/21	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	10/2	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	10/23	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	11/20	高松	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
	2/26	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
九州	5/11	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	8/28	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	10/23	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	12/18	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
	3/5	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664

8

リスクアセスメント・レベルアップ研修

対象者 リスクアセスメントを実施・運用している事業場の安全衛生スタッフ・担当者等（安全衛生スタッフ向けリスクアセスメント実務研修、職場リーダー向けリスクアセスメント研修を受講済みですとより理解が深まります。）

内容 「すでにリスクアセスメントを実施しているが、うまく展開できない、なかなか成果が上がらない」と感じている事業場において、その問題点を探り、解決策、対応策について、演習、講師との質疑応答および参加事業場との情報交換を交えて研修します。

料金 22,630 円（賛助会員） 25,710 円（一般）
【13,580 円（賛助会員・中小割引） 15,430 円（一般・中小割引）】
（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程	開催日	開催地	問合せ先	TEL
	11/19	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376

定員 40 名

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
リスクアセスメント手法のポイント／リスクアセスメント実施運用上のポイント／リスクアセスメントを効果的に進めるに当たって
- 演習
自社のリスクアセスメント実施状況のチェック／リスクアセスメント実施状況の紹介と情報交換／リスクアセスメント実施上の問題点とその改善策

● JISHA 方式 OSHMS 評価員養成コース

9

JISHA 方式 OSHMS 評価員養成研修

対象者 企業において OSHMS の評価を担当する方、JISHA 方式 OSHMS 評価認定機関において JISHA 方式適格 OSHMS 認定事業の評価員を目指す方、労働安全衛生コンサルタントの方など

内容 労働安全衛生マネジメントシステムに係る適切な指導に必要な知識、ノウハウの付与および JISHA 方式適格 OSHMS 基準への適合状況の評価ができる JISHA 方式 OSHMS 評価員（以下「評価員」という。）の資格者の養成を行います。

料金 205,710 円（賛助会員） 226,290 円（一般）
（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程	開催日	開催地	問合せ先	TEL
	9/10～14	東京	中災防技術支援部	03-3452-6376

定員 24 名

カリキュラム概要（5 日研修）

- 講義
JISHA 方式適格 OSHMS 認定の考え方／評価員の心構え／JISHA 方式適格 OSHMS 認定の進め方／書面調査の進め方／JISHA 方式適格 OSHMS 基準の内容
- 演習
書面調査／実地調査／評価結果報告書の作成
- 試験

平成 30 年度「中小規模事業場に対する割引サービス」のご利用について

当協会では、中小規模事業場の自主的な安全衛生活動を支援するため、常時使用する労働者数が 300 人未満の労災保険適用事業場を対象に、セミナー受講料の割引サービスを予定しています。詳しくは、中災防ホームページをご覧ください。

割引料金の記載のある研修は、割引料金対象研修です。平成 30 年 3 月ごろに確定する予定です。

<http://www.jisha.or.jp/chusho/discount.html>

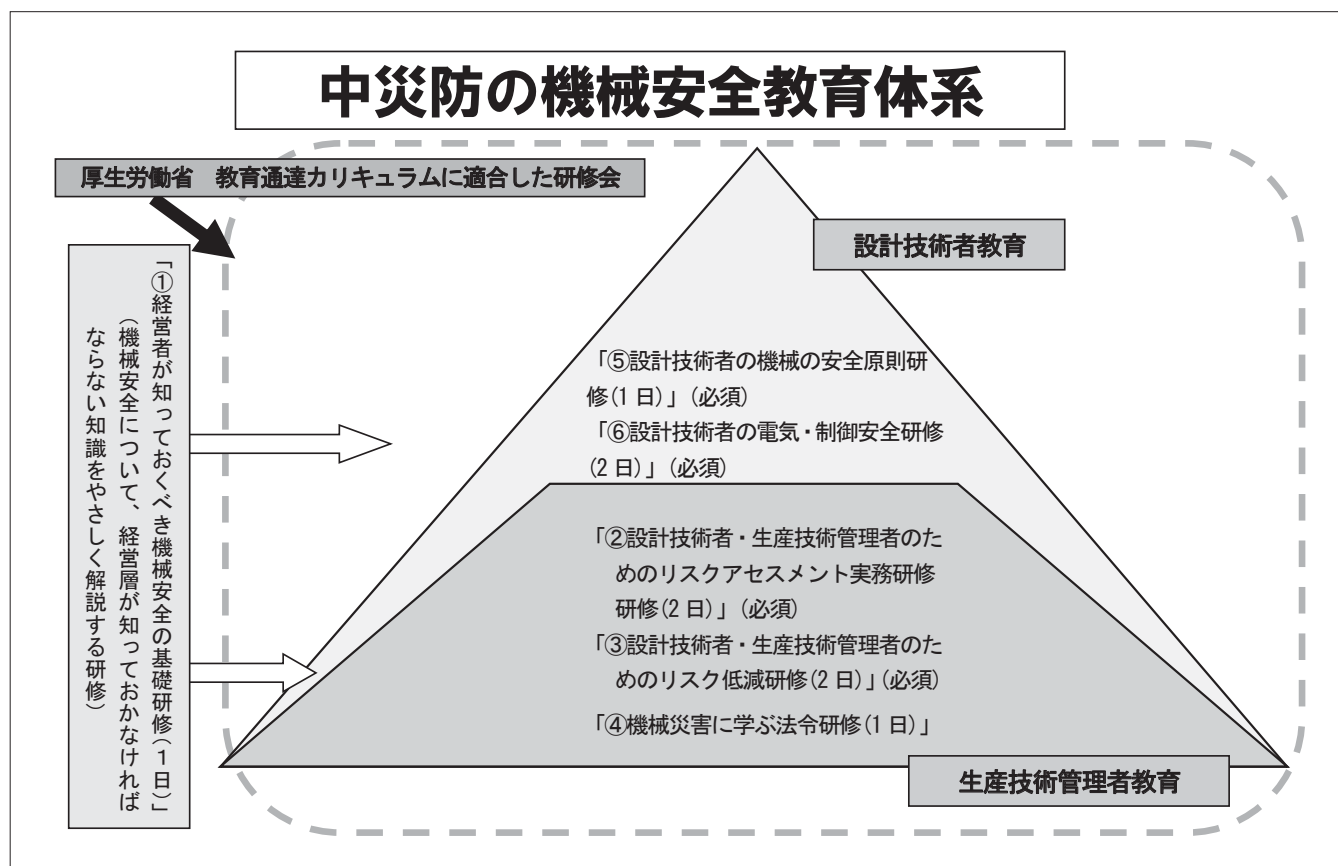
● 機械設備に対するリスクアセスメント、リスク低減措置

機械設備の設計・製造時、導入・改造時やライン変更時等には、機械設備のリスクアセスメントを行い、リスク低減措置を実施することが必要です。このとき行うリスクアセスメントは、機械の安全原則を踏まえた「機械の包括的な安全基準に関する指針」(以下「機械指針」)や関連する日本工業規格や ISO / IEC 規格 に沿って行います。

中災防では、機械のリスクアセスメント・リスク低減に関し、次のような研修を実施しております。製造業等の業種では、はさまれ巻込まれなど重篤な被害をもたらす機械による災害が後をたちません。これら災害の防止には機械安全による方法が最優先です。中災防の機械安全研修を受講し、皆様方事業場での機械災害防止につなげてください。

厚生労働省は平成 26 年『設計技術者、生産技術管理者に対する機械安全にかかる教育について』(以下「機械安全教育通達」)を発表しました。中災防の研修はこの通達に示されたカリキュラムを踏まえて実施します。設計技術者、生産技術者など多くの関係者の受講を歓迎します。

中災防の機械安全教育体系



■ 機械設備に対するリスクアセスメント、リスク低減方策

- | | |
|---|----|
| [1] 経営者が知っておくべき機械安全の基礎研修 | 11 |
| [2] 設計技術者、生産技術管理者のための機械設備のリスクアセスメント実務研修 | 11 |
| [3] 設計技術者・生産技術管理者のためのリスク低減研修 | 12 |
| [4] 機械災害に学ぶ法令研修 | 12 |
| [5] 設計技術者の機械の安全原則研修 | 13 |
| [6] 設計技術者の電気・制御安全研修 | 13 |



研修・セミナーのお申込はこちら 中災防ホームページ : <http://www.jisha.or.jp/machinery/>

中災防 機械

検索



[1] 経営者が知っておくべき機械安全の基礎研修

対象者 機械使用事業場、機械製造事業場の経営者、経営幹部、ライン管理者、安全衛生管理部門

内容 企業としてなぜ、今、機械安全に取り組まなければならないのか、機械安全とはどういう仕組みなのか、なぜ効果があるのかなど、機械安全に関する基本的な知識を、機械災害事例や判例なども参考に分かりやすく解説します。経営者を始め、ラインの管理者や、安全衛生管理部門のトップの方々など、企業として機械安全の取り組みを推進いただく皆様にぜひ聞いていただきたい研修です。

料金 18,510 円（賛助会員） 20,570 円（一般）
【11,110 円（賛助会員・中小割引） 12,340 円（一般・中小割引）】
（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程 ※ 開催日が記載されていない日程につきましては、4 月以降の中防災ホームページにてご確認ください。

開催日	開催地	問合せ先	TEL
6/29	大津	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
7/10	新潟	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
7/13	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
7/27	福井	（公社）福井県労働基準協会連合会	0776-54-3323
7/31	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
9/5	大阪	（公社）大阪労働基準連合会	06-6942-7201
9/7	甲府	（一社）山梨県労働基準協会連合会	055-251-6626

開催日	開催地	問合せ先	TEL
9/26	山形	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
11/8	札幌	札幌労働基準協会	011-757-0340
12/7	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
2/7	長崎	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
未定	松本	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
未定	岐阜	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
未定	松山	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

カリキュラム概要（1 日研修）

- 講義
 - ① 機械安全に取り組む必要性
 - ② 機械災害とその防止対策
 - ③ 機械設備のリスクアセスメント
- 演習
機械設備の機械災害事例から原因・対策を考えてみよう

[2] 設計技術者、生産技術管理者のための機械設備のリスクアセスメント実務研修

対象者 機械製造事業者の設計技術者、機械使用事業場の生産技術者、機械設備のシステムインテグレータ

内容 機械指針や、最新の JIS 規格、国際標準などに基づくリスクアセスメントの手順*やその背景となる知識を、分かりやすい解説、実践的な演習／グループ討議などにより習得いただく 2 日間の研修です。機械製造事業者の設計技術者の皆様、機械使用事業場の生産技術管理者の皆様ともに役に立ていただける内容としています。

なお、本研修を修了されると機械安全教育通達の設計技術者向けカリキュラムの科目 4「機械の設計製造段階のリスクアセスメントとリスク低減（1）機械の設計製造段階のリスクアセスメント」及び生産技術管理者向けカリキュラムの科目 3「機械の安全原則」及び科目 4「機械の使用段階のリスクアセスメントとリスク低減（1）機械のリスクアセスメントの手順」を修了したことになります。

（注*：危険源の同定、リスクの見積り・評価、リスクの再評価までの手順で、リスク低減の詳細な手順は含まない）

料金 51,430 円（賛助会員） 61,710 円（一般）
【30,860 円（賛助会員・中小割引） 37,030 円（一般・中小割引）】
（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
6/5～6	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
7/24～25	広島	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
8/30～31	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
9/12～13	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/23～24	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
11/20～21	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
12/13～14	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

カリキュラム概要（2 日間研修）

- 講義
 - ① 機械の安全原則の概要
 - ② 機械のリスクアセスメント序論
 - ③ 情報の入手、制限仕様の指定
 - ④ 危険源、危険状態、危険事象の同定
 - ⑤ リスクの見積りと評価
 - ⑥ リスク低減後のリスクの再評価（検証と妥当性確認）
- 演習／グループ討議
 - ① 危険源の同定
 - ② リスクの見積りと評価
 - ③ リスクの再評価

[3] 設計技術者・生産技術管理者のためのリスク低減研修

対象者 機械製造事業場等の設計技術者、機械使用事業場の生産技術管理者、機械設備のシステムインテグレーター

定員 36名

内容 機械のリスクアセスメントの結果に基づきリスク低減方を適切に実施することが必要です。そのため機械指針や、最新のJIS規格、国際標準に沿ったリスク低減方策の手順やその背景となる知識を、分かりやすい解説、実践的な演習、最新型にモデルチェンジした保護装置のデモ用実習装置による体験実習などにより学んでいただきます。

なお、本研修を修了されると機械安全教育通達の設計技術者向けカリキュラムの科目4「機械の設計製造段階のリスクアセスメントとリスク低減（2）～（4）のリスク低減方策」及び生産技術管理者向けカリキュラムの科目4「機械の使用段階のリスクアセスメントとリスク低減（2）～（4）のリスク低減方策」を修了したことになります。

カリキュラム概要（2日間研修）

- 講義
 - ① 本質的安全設計方策と本質安全
 - ② 安全防護①ガード
 - ③ 安全防護②保護装置
 - ④ 付加保護方策
 - ⑤ 機械メーカーによる使用上の情報の作成・提供
 - ⑥ 機械ユーザーによる作業手順の見直し、適切な保護具の適用等
- 体験実習
 - ① 保護装置のデモ用実習装置による体験実習

料金 55,540円（賛助会員） 61,710円（一般）
 【33,320円（賛助会員・中小割引） 37,030円（一般・中小割引）】
 （いずれも消費税8%、資料代を含みます）

開催日程 ※開催日が記載されていない日程につきましては、4月以降の中災防ホームページにてご確認ください。

開催日	開催地	問合せ先	TEL
8/6～7	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
9/19～20	高岡	中部安全衛生サービスセンター北陸支所	076-441-6420
10/30～31	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
11/5～6	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

開催日	開催地	問合せ先	TEL
11/27～28	広島	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
2/14～15	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
3/6～7	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
未定	大阪	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

[4] 機械災害に学ぶ法令研修

対象者 機械製造事業場の設計技術者、機械使用事業場の設計技術者、生産技術者、保全技術者、安全管理者、安全スタッフ、経営者（工場長、事業所長等）など

定員 50名

内容 具体的な機械災害事例を参照しながら、労働安全衛生関係法令に定められた機械災害防止のための重要な規定について、具体的にとるべき対応法を分かりやすく解説します。機械の安全対策を進める上で必要な技術者倫理や、機械メーカーにその作成が（努力）義務付けられている機械危険情報についても解説いたします。

なお、本研修を受講することで、厚生労働省の「機械安全教育通達」に示された設計技術者向けカリキュラムの「科目1 技術者倫理」、「科目2 関係法令」および「科目5 機械危険情報の通知」並びに生産技術管理者向けカリキュラムの「科目1 技術者倫理」および「科目2 関係法令」を修了したことになります。

カリキュラム概要（1日研修）

- 講義
 - 技術者倫理／関係法令／機械に関する危険性の通知

料金 22,630円（賛助会員） 25,710円（一般）
 【13,580円（賛助会員・中小割引） 15,430円（一般・中小割引）】
 （いずれも消費税8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	申込先	問合せ先(TEL)
5/18	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
7/4	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
8/1	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
10/4	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

開催日	開催地	申込先	問合せ先(TEL)
10/10	名古屋	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
12/18	広島	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
1/21	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375
2/26	福岡	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

[5] 設計技術者の機械の安全原則研修

対象者 機械製造事業場の設計技術者、機械使用事業場の設計技術者、生産技術者、保全技術者、機械設備のシステムインテグレータ

内 容 機械包括安全指針や JISB9700 に示される「機械の一般安全原則」の考え方や、安全原則を踏まえたリスク低減措置の進め方、機械安全化に関連する日本工業規格 (JIS 規格)、国際標準 (ISO / IEC 規格) に関する知識、それら機械安全規格に定められた内容などを詳細に解説します。

なお、本研修を受講することで、厚生労働省の「機械安全教育通達」に示された設計技術者向けカリキュラムの「科目 3 機械の安全原則」(1) および (2) を修了したことになります。

料 金 25,710 円 (賛助会員) 28,290 円 (一般)
【15,430 円 (賛助会員・中小割引) 16,970 円 (一般・中小割引)】
(いずれも消費税 8%、資料代を含みます)

開催日程	開催日	開催地	申込先	問合せ先 (TEL)
	5/29	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

定 員 40 名

カリキュラム概要 (1 日研修)

- 講義
機械の安全原則 / 機械安全 一般原則～ JISB9700 の徹底解説

[6] 設計技術者の電気・制御安全研修

対象者 機械製造事業場の設計技術者、機械使用事業場の設計技術者、生産技術者、保全技術者、機械設備のシステムインテグレータ

内 容 機械のリスクアセスメント・低減措置を検討するときに、関連して知っておかなければならない電気安全の知識、制御システムの安全関連部に関する知識を実践的に学んでいただく研修です。

なお、本研修を受講することで、厚生労働省の「機械安全教育通達」に示された設計技術者向けカリキュラムの「科目 3 機械安全の原則」(3) および「科目 4 機械の設計・製造段階のリスクアセスメントとリスク低減」(5) を修了したことになります。

料 金 51,420 円 (賛助会員) 56,580 円 (一般)
【30,850 円 (賛助会員・中小割引) 33,950 円 (一般・中小割引)】
(いずれも消費税 8%、資料代を含みます)

開催日程	開催日	開催地	申込先	問合せ先 (TEL)
	3/14 ~ 15	東京	技術支援部技術指導課	03-3452-6375

定 員 40 名

カリキュラム概要 (2 日研修)

- 講義
- 電気安全規格
(JISB9960-1(IEC60204-1)) の内容と具体的対応
- 制御システムの安全関連部に関する規格
(JISB9705-1(ISO13849-1)) の内容と具体的対応

■ 生産技術管理者に対する機械安全教育カリキュラム（機械安全教育通達より）

科 目	範 囲	時 間	[7] 機械災害に学ぶ 法令研修	[3] 機械設備のリス クアセスメント実 務研修	[5] 機械設備のリス クアセスメント総 合研修
1 技術者倫理	(1) 労働災害、機械災害の現状と災害事例 (2) 技術者倫理、法令遵守（コンプライアンス）	1.0	○		○
2 関係法令	(1) 法令の体系と労働安全衛生法の概要 (2) 機械の構造規格、規則の概要 (3) 機械の包括安全指針の概要 (4) 危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）等 に関する指針の概要 (5) 機械に関する危険性等の通知の概要	3.0	○		○
3 機械の安全原則	(1) 本質安全・隔離・停止の原則 (2) 機械安全規格の種類と概要（日本工業規格（JIS 規格）、 国際規格（ISO 規格、IEC 規格））	2.0		○	○
4 機械の使用段階 のリスクアセスマ ントとリスク低減	(1) 機械のリスクアセスメントの手順 (2) 本質的安全設計方策のうち可能なもの (3) 安全防護及び付加保護方策 (4) 作業手順、労働者教育、個人用保護具	9.0		○	○

合計 15 時間

- 1 機械の使用者（ユーザー）の安全担当者についても、上記カリキュラムの教育を受けることが望ましいこと。
- 2 機械の使用者（ユーザー）の経営層や購買担当者についても、上記カリキュラムの「1 技術者倫理」及び「2 関係法令」の内容について、教育を受けることが望ましいこと。

■ 設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム（機械安全教育通達より）

科 目	範 囲	時 間	[8] 設計技術者の 機械の安全原 則研修	[9] 設計技術者の リスクアセスマ ント研修	[10] 設計技術者の 電気・制御安 全研修	[7] 機械災害に学 ぶ法令研修
1 技術者倫理	(1) 労働災害、機械災害の現状と災害事例 (2) 技術者倫理、法令遵守（コンプライアンス）	1.0				○
2 関係法令	(1) 法令の体系と労働安全衛生法の概要 (2) 機械の構造規格、規則の概要 (3) 機械の包括安全指針の概要 (4) 危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）等 に関する指針の概要 (5) 機械に関する危険性等の通知の概要	3.0				○
3 機械の安全原則	(1) 機械安全規格の種類と概要（日本工業規格（JIS 規格）、 国際規格（ISO 規格、IEC 規格）） (2) 機械安全一般原則の内容（JISB9700（ISO12100））	6.0	○			
	【電気・制御技術者のみ】 (3) 電気安全規格（JISB9960-1（IEC60204-1））	(5.0)			○	
4 機械の設計・製 造段階のリスクア セスメントとリス ク低減	(1) 機械の設計・製造段階のリスクアセスメント手順 (2) 本質的安全設計方策 (3) 安全防護及び付加保護方策 (4) 使用上の情報の作成	18.0		○		
	【電気・制御技術者のみ】 (5) 制 御 シ ス テ ム の 安 全 関 連 部（JISB9705-1 （ISO13849-1））	(5.0)			○	
5 機械に関する危 険性等の通知	(1) 残留リスクマップ、残留リスク一覧の作成	2.0				○

合計 30 時間（電気・制御技術者は 40 時間）

機械安全教育通達：「設計技術者、生産技術管理者に対する機械安全に係る教育について」
（厚生労働省通達）（平成 26 年 4 月 15 日付 基安発 0415 第 3 号）

● 化学物質の管理・リスクアセスメント

平成 28 年 6 月に化学物質等リスクアセスメント義務化から 3 年目を迎えます。当初適用された化学物質等は 640 物質でしたが、平成 29 年 3 月に 27 物質が追加され、さらに平成 29 年 8 月に 11 物質の追加（施行は平成 30 年 7 月）により、リスクアセスメントを用いた自主管理が拡大、強化されていくものと考えます。

事業場等における化学物質管理を推進していくために、化学物質管理体制の充実とともに、SDS 情報等を活用し、化学物質等リスクアセスメントが推進できる人材を確保することが肝要です。

私どもでは、事業場等の推進体制の状況等に応じ、化学物質管理にお役立ちいただくために有用と考える研修会を計画しました。事業場等の化学物質管理を指導・監督または推進する担当者、化学物質等リスクアセスメント実施担当者はもちろん、職場リーダー、安全衛生スタッフ、さらには社会保険労務士、労働衛生コンサルタント、作業環境測定士等労働衛生管理に携わる幅広い方々のご参加をお待ちいたします。

■ 化学物質の管理・リスクアセスメント

〔導入研修〕

- 〈1〉 化学の基礎から学ぶ化学物質管理研修 15
- 〈2〉 SDS の読み方&コントロールバンディング研修 16
- 〈3〉 化学物質管理の初歩研修 ※地区センター開催研修 16

〔普及研修〕

- 〈4〉 管理・監督者のための化学物質管理研修 16
- 〈5〉 化学物質管理者選任時研修（健康障害防止） 17
- 〈6〉 化学物質管理者選任時研修（爆発・火災防止） 17
- 〈7〉 化学物質管理者スキルアップセミナー 17
- 〈8〉 簡易測定機器を活用した化学物質リスクアセスメント研修 18

〔専門研修〕

- 〈9〉 化学物質のリスクアセスメント専門研修（健康障害防止） 18
- 〈10〉 化学物質のリスクアセスメント専門研修（爆発・火災防止） 18
- 〈11〉 ばく露推計モデルによる作業環境中の有害物質濃度の推定研修 18
- 〈12〉 個人ばく露測定を活用した化学物質管理研修 19
- 〈13〉 混合物の SDS つくり方研修 19

〔その他地区センターが開催する研修〕

- ダイオキシン類業務に係る作業指揮者養成研修 19



研修・セミナーのお申込はこちら 中災防ホームページ：<http://www.jisha.or.jp/chemicals/>

中災防 化学

検索



〔導入研修〕 ◆化学物質管理のあり方、SDS の活用に関することなど、化学物質管理の基本を知る研修です。

〈1〉 化学の基礎から学ぶ化学物質管理研修（1 日研修）

概要

“化学はちょっと苦手”、“化学物質リスクアセスメントをやってみたけどよくわからない”と感じている方々にお勧めする研修です。化学物質の危険有害性に係わる性質、労働安全衛生に係わる化学物質管理、化学物質アセスメント手法（健康障害防止／爆発火災事故防止）の目的、意義等を紹介し、化学物質の基礎的事項からリスクアセスメントにつなげるための研修です。

料金

19,440 円（賛助会員） 21,600 円（一般）
【11,660 円（賛助会員・中小割引） 12,960 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
4/27	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
5/15	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
7/31	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

開催日	開催地	問合せ先	TEL
8/2	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
12/7	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈2〉 SDS の読み方&コントロールバンディング研修（1 日研修）

概 要 化学物質による職業性疾病や爆発火災事故防止のため、化学品に関する的確な危険有害性情報を SDS 等により取得し、その情報を関係者全員が共有化し理解することは安全衛生活動の基本です。SDS 等の情報をもとに、厚生労働省が提供するリスクアセスメント実施ツール（コントロールバンディング等）の使い方を学び、防止措置の検討方法について学びます。

料 金 19,440 円（賛助会員） 21,600 円（一般）
 【11,660 円（賛助会員・中小割引） 12,960 円（一般・中小割引）】 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/31	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
7/3	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
7/31	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/23	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
2/21	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈3〉 化学物質管理の初歩研修（半日研修） ※地区センター開催研修

概 要 労働安全衛生法改正のあらまし、化学物質管理の考え方とリスクアセスメント実施手法概論等について学びます。化学物質管理について、化学物質管理の基本を学びたいとお考えの皆様にご受講していただきたい研修です。

料 金 12,640 円（賛助会員） 14,040 円（一般）
 【7,580 円（賛助会員・中小割引） 8,420 円（一般・中小割引）】 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
4/24	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
5/31	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
6/25	福井	（公社）福井県労働基準協会	0776-54-3323

開催日	開催地	問合せ先	TEL
7/12	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
9/19	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731

〔普及研修〕

◆化学物質等のリスクアセスメントを推進していくためには、化学物質等のリスクアセスメントができる人材を養成することはもちろん、化学物質管理に係る管理体制の充実も必要と考えます。管理・監督する立場のスタッフが化学物質管理の考え方や化学物質等リスクアセスメントを学んでもらいたい、化学物質等リスクアセスメント実施担当者を養成したい、更なるスキルアップを図りたいなど化学物質管理の推進のために有用と考える様々な研修をご用意いたしました。SDS の内容は理解している、化学物質取扱い作業の管理を担当している方などにお勧めの研修です。

〈4〉 管理・監督者のための化学物質管理研修（1 日研修）

概 要 化学物質管理者を指導、管理する安全衛生管理者、職長などの方々にお勧めする研修です。労働安全衛生法令における化学物質管理、ラベル、SDS、爆発火災 / 労働衛生に関する管理の概要、化学物質リスクアセスメント（健康障害防止）手法について紹介します。

料 金 19,440 円（賛助会員） 21,600 円（一般）
 【11,660 円（賛助会員・中小割引） 12,960 円（一般・中小割引）】 （いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/24	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
6/5	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
6/5	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
6/12	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
6/27	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
7/25	富山	中部安全衛生 SC 北陸支所	076-441-6420
8/24	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
10/2	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/10	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
11/28	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
12/5	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
1/30	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
2/12	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
2/12	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
2/19	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664

〈5〉 化学物質管理者選任時研修（健康障害防止）（1 日研修）

概要 化学物質等リスクアセスメント実施担当者（化学物質管理者）向けの研修です。労働安全衛生法令における化学物質等のリスクアセスメント（健康障害防止）について、化学物質の有害性について理解を深め、リスク低減対策に結びつける考え方を学びます。また、JISHA 方式の化学物質リスクアセスメント（健康障害防止）定性手法を演習により具体的な方法を学びます。

なお、本セミナーは国が示した「安全衛生教育等推進要綱」に呼応し、これまでに開催してきた「健康障害防止のための化学物質リスクアセスメント研修」を最近の情報等を交えカスタマイズしたものです。もちろん化学物質等リスクアセスメント実施担当者になられている方で、健康障害防止に係る JISHA 方式の手法を学びたいとお考えの方にもお勧めする研修です。

料金 24,740 円（賛助会員） 27,490 円（一般）
【14,840 円（賛助会員・中小割引） 16,490 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/17	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
5/22	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
5/30	沖縄	（一社）沖縄県労働基準協会	098-868-2826
6/19	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
7/3	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
7/10	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
8/3	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
9/21	熊本	（一社）熊本県労働基準協会	096-245-7821

開催日	開催地	問合せ先	TEL
9/27	由布	（一社）大分県労働基準協会	097-585-5765
11/13	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
11/15	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
11/22	旭川	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
12/14	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
1/31	宮崎	（公社）宮崎労働基準協会	0985-25-1853
2/6	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
2/14	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈6〉 化学物質管理者選任時研修（爆発・火災防止）（1 日研修）

概要 化学物質等リスクアセスメント実施担当者（化学物質管理者）向けの研修です。労働安全衛生法令における化学物質等のリスクアセスメント（爆発・火災防止）について、化学物質の危険性による爆発火災現象について理解を深め、リスク低減対策に結びつける考え方を学びます。また、JISHA 方式の化学物質リスクアセスメント（爆発・火災防止）手法について、演習により具体的な方法を学びます。

なお、本セミナーは国が示した「安全衛生教育等推進要綱」に呼応し、これまでに開催してきた「爆発・火災防止のための化学物質リスクアセスメント研修」を最近の情報等を交えカスタマイズしたものです。もちろん化学物質等リスクアセスメント実施担当者になられている方で、爆発・火災防止に係る JISHA 方式の手法を学びたいとお考えの方にもお勧めする研修です。

料金 24,740 円（賛助会員） 27,490 円（一般）
【14,840 円（賛助会員・中小割引） 16,490 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程 ※ 開催日が記載されていない日程につきましては、4 月以降の中防災ホームページにてご確認ください。

開催日	開催地	問合せ先	TEL
6/15	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
7/27	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
11/6	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731

開催日	開催地	問合せ先	TEL
11/21	旭川	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
1/29	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
2/15	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈7〉 化学物質管理者スキルアップセミナー（1 日研修）

概要 労働安全衛生法令における化学物質のリスクアセスメントを実施したが、さらに詳細なリスクアセスメント手法に取り組み、リスク低減措置の優先順位付け、低減措置の効果の評価などを行うことを目指す方にお勧めします。急性ばく露（健康障害防止）に対するリスクアセスメント、少量取扱いに係る詳細なリスクアセスメント手法など化学物質管理者としての技能を磨くセミナーです。

料金 19,440 円（賛助会員） 21,600 円（一般）
【11,660 円（賛助会員・中小割引） 12,960 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/11	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
6/20	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

開催日	開催地	問合せ先	TEL
9/11	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
10/24	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈8〉簡易測定機器を活用した化学物質リスクアセスメント研修（1 日研修）

概要 化学物質等リスクアセスメントの手法はマトリックス法や数値化法のように机上で行うものばかりではありません。検知管、可燃性ガス検知器、粉じん計など簡易にできる測定器を用いて測定し、その測定結果を活用してリスクアセスメント実施する手法を学びます。測定値を得ることにより、化学物質のリスク低減に向け、効果的措置を実施するために、発生源の特定、有害物の発生抑制等、焦点を絞り込み対策を検討したいとお考えの方にもお勧めする研修です。また、第 13 次労働災害防止計画への対応を見込んだ手法にもつながるものと考えます。

料金 24,300 円（賛助会員） 27,000 円（一般）
【14,580 円（賛助会員・中小割引） 16,200 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
7/17	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
9/27	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

開催日	開催地	問合せ先	TEL
12/14	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〔専門研修〕 ◆ SDS や化学物質のリスクアセスメントについて一定の知識は習得していて、さらに専門的な知識を習得する必要があるとお考えの皆様などにお勧めする研修です。

〈9〉化学物質のリスクアセスメント専門研修（健康障害防止）（2 日研修）

概要 専門家を招き、化学物質による健康障害についての専門的知識、労働安全衛生法令における化学物質のリスクアセスメント手法とリスク低減措置について、事例や演習を含め詳細に学びます。定性的手法から定量的手法まで多くの手法を習得し活用することを目指す方にお勧めする研修です。

料金 41,800 円（賛助会員） 46,440 円（一般）
【25,080 円（賛助会員・中小割引） 27,860 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
7/5～6	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/29～30	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈10〉化学物質のリスクアセスメント専門研修（爆発・火災防止）（2 日研修）

概要 専門家を招き、化学物質による爆発火災についての専門的知識、労働安全衛生法令における化学物質リスクアセスメント手法とリスク低減措置について、事例や演習を含めてより詳細に学びます。労働安全衛生法令に係わらず、化学物質の危険性に起因するリスク（爆発火災のリスク）について、より幅広い視点からのリスク洗い出しとその評価、低減対策の検討等を習得したい方にお勧めする研修です。

料金 41,800 円（賛助会員） 46,440 円（一般）
【25,080 円（賛助会員・中小割引） 27,860 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
9/6～7	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈11〉ばく露推計モデルによる作業環境中の有害物質濃度の推定研修（半日研修）

概要 事業場等において、これから新規に取扱いを計画している化学物質、作業環境における分析手法が確立されていない化学物質、または作業環境測定を実施しなくても作業環境中の化学物質濃度を推定したいなど、対象とする化学物質の作業環境中の濃度を推定することは、化学物質のリスクアセスメントを実施する上で有効な手段となります。ばく露推計モデルの考え方に関する講義及び演習を通じてその手法を学びます。作業環境管理、作業管理に精通している方にお勧めする研修です。

料金 23,330 円（賛助会員） 25,920 円（一般）
【14,000 円（賛助会員・中小割引） 15,550 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/12	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈12〉個人ばく露測定を活用した化学物質管理研修（半日研修）

概要 個人ばく露測定の実施は、作業者のばく露の程度を的確に把握できることや、欧米で広く採用されている点などから関心が寄せられています。化学物質のリスクアセスメントにおいては、ばく露の程度を把握する定量的手法として有用な手法となります。個人ばく露測定の目的と特徴および、事前調査から測定結果に基づく評価の進め方について学び、個人ばく露測定に使用する各種サンプリング機器取扱いの実習を行います。作業環境管理、作業管理に精通している方にお勧めする研修です。また、これから個人ばく露測定を行いたい、現在行なっている個人ばく露測定を見直したいとお考えの労働衛生管理担当者の皆様にも有用な研修です。

料金 26,240 円（賛助会員） 29,160 円（一般）
【15,740 円（賛助会員・中小割引） 17,500 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程	開催日	開催地	問合せ先	TEL
	11/20	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〈13〉混合物の SDS つくり方研修（1.5 日研修）

概要 化学品に関する適切な危険有害性情報の提供は、供給者の責務であり、化学物質を使用する立場の方々が、的確に化学物質のリスク低減策を実施するためには不可欠です。GHS 及び JIS 基準の概要、混合物の GHS 分類とその分類結果からラベル、SDS の作成方法を学びます。GHS 分類について一定の知識をお持ちで、これから SDS 作成を担当するまたは SDS の作成担当をしているが基本的な作成方法、手順を確認したい方にお勧めする研修です。

料金 27,220 円（賛助会員） 30,240 円（一般）
【16,330 円（賛助会員・中小割引） 18,140 円（一般・中小割引）】（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程 ※ 開催日が記載されていない日程につきましては、4 月以降の中防災ホームページにてご確認ください。

開催日	開催地	問合せ先	TEL
6/7～8	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
8/30～31	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

開催日	開催地	問合せ先	TEL
12 月	大阪	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377
1/28～29	東京	労働衛生調査分析センター	03-3452-6377

〔その他地区センターが開催する研修〕

ダイオキシン類業務に係る作業指揮者養成研修（1 日研修）

概要 廃棄物焼却施設における焼却炉等の運転、点検等作業及び解体作業に従事する労働者のダイオキシン類へのばく露による健康障害の防止については、労働安全衛生規則に基づき、ダイオキシン類業務に係るばく露低減措置の一環として、作業指揮者を選任することと、作業に従事する労働者に特別の教育を行うことが事業者には義務付けられています。本研修は、廃棄物焼却施設関連作業におけるダイオキシン類業務に係る労働安全衛生規則第 592 条の 6 に規定する作業指揮者の養成のための研修として、各地区安全衛生サービスセンターにおいて開催します。

なお、本研修は同規則第 592 条の 7 に規定する特別教育の全課程を含みますので、本研修を受講すれば特別教育修了の資格を得ることができます。

料金 12,340 円（賛助会員） 15,430 円（一般）（いずれも消費税 8%、資料代を含みます）

開催日程

開催日	開催地	問合せ先	TEL
5/29	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
6/5	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031
6/21	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
6/26	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
7/2	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
8/3	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
9/4	福岡	九州安全衛生サービスセンター	092-437-1664
10/2	北海道	北海道安全衛生サービスセンター	011-512-2031

開催日	開催地	問合せ先	TEL
10/11	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
10/31	高松	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
11/2	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701
11/13	名古屋	中部安全衛生サービスセンター	052-682-1731
11/22	仙台	東北安全衛生サービスセンター	022-261-2821
1/29	広島	中国四国安全衛生サービスセンター	082-238-4707
2/13	大阪	近畿安全衛生サービスセンター	06-6448-3450
2/19	東京	関東安全衛生サービスセンター	03-5484-6701

各種支援サービス

★出張研修（オリジナル研修）

事業場と相談しながら企画する研修で、事業場等にお伺いして実施します。

対象：リスクアセスメント、OSHMS、
機械設備の安全化、化学物質管理関連

	正規料金		割引料金 ※	
半日	会員	162,000 円	会員	97,200 円
	一般	183,600 円	一般	110,160 円
1 日	会員	324,000 円	会員	194,400 円
	一般	367,200 円	一般	220,320 円

★安全衛生管理支援サービス

事業場のニーズに応じて安全衛生管理に関する事例等の情報提供を行います。

	正規料金		割引料金 ※	
半日	会員	162,000 円	会員	97,200 円
	一般	183,600 円	一般	110,160 円
1 日	会員	324,000 円	会員	194,400 円
	一般	367,200 円	一般	220,320 円

★講 演

安全衛生のテーマについて講師を派遣します。講演時間、内容等は事前に調整させていただきます。

	正規料金		割引料金 ※	
90 分	会員	81,000 円	会員	調整中
	一般	97,200 円	一般	調整中

90分を超える30分ごとに、会員27,000円、一般32,400円加算となります。

★安全衛生教育への講師派遣

事業場内で企画した教育研修へ講師を派遣します。内容等は事前に調整させていただきます。

	正規料金		割引料金 ※	
半日	会員	86,400 円	会員	調整中
	一般	118,800 円	一般	調整中
1 日	会員	135,000 円	会員	調整中
	一般	167,400 円	一般	調整中

7時間を超える1時間ごとに、会員19,290円、一般23,910円加算となります。

※ 割引料金対象事業場：常時使用労働者数 300 人未満の労災保険適用事業場
金額は調整中です。詳細はホームページ等でご確認下さい。

注：上記料金のほかに、交通費および宿泊費が必要となります。時間外、休日等の場合は割増し料金となります。
お見積り、ご相談は下記の連絡先までお願いします。

お問い合わせ先

中央労働災害防止協会 技術支援部

〒108-0014 東京都港区芝 5-35-2

TEL：03-3452-6376 FAX：03-5445-1774 E-mail：ms@jisha.or.jp

北海道安全衛生サービスセンター

〒064-0919 札幌市中央区南 19 条西 9-2-25

TEL：011-512-2031 FAX：011-512-9612

近畿安全衛生サービスセンター

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 2-3-8

TEL：06-6448-3450 FAX：06-6448-3477

東北安全衛生サービスセンター

〒980-0011 仙台市青葉区上杉 1-3-34

TEL：022-261-2821 FAX：022-261-2826

中国四国安全衛生サービスセンター

〒733-0003 広島市西区三篠町 3-25-30

TEL：082-238-4707 FAX：082-238-4716

関東安全衛生サービスセンター

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-17-12（吾妻ビル 9 階）

TEL：03-5484-6701 FAX：03-5484-6704

中国四国安全衛生サービスセンター四国支所

〒760-0017 高松市番町 3-3-17（第一讃機ビル 2 階北側）

TEL：087-861-8999 FAX：087-831-9358

中部安全衛生サービスセンター

〒456-0035 名古屋市熱田区白鳥 1-4-19

TEL：052-682-1731 FAX：052-682-6209

九州安全衛生サービスセンター

〒812-0008 福岡市博多区東光 2-16-14

TEL：092-437-1664 FAX：092-437-1669

中部安全衛生サービスセンター北陸支所

〒930-0857 富山市奥田新町 8-1（ポルファートとやま 9 階）

TEL：076-441-6420 FAX：076-441-4641

労働衛生調査分析センター

〒108-0014 東京都港区芝 5-35-2

TEL：03-3452-6377 FAX：03-3452-4807